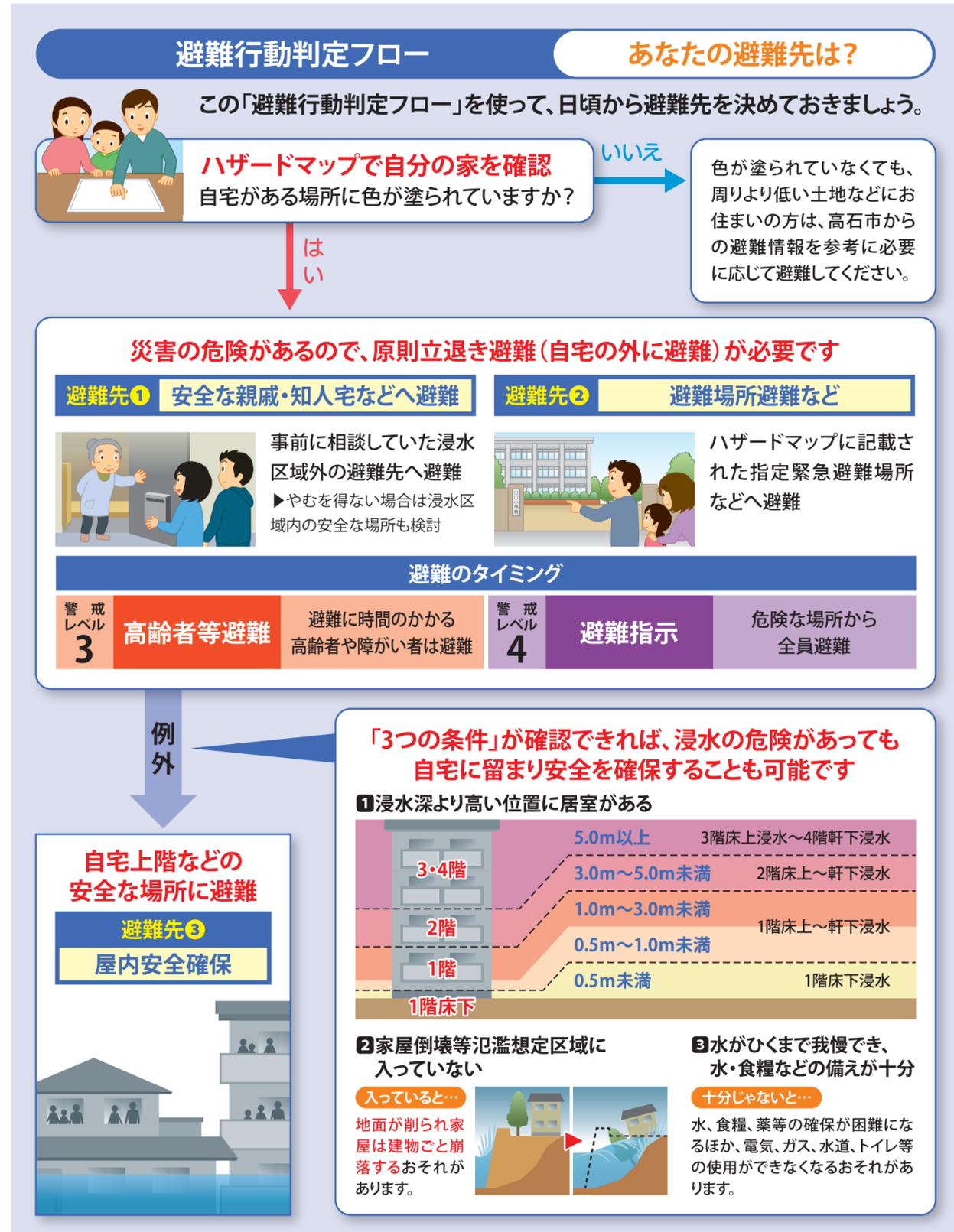


台風発生時にとるべき行動



風水害について

避難行動判定フロー



避難の心得

いざという時のために、日頃から避難に必要なものを整理し、避難の手順について話し合っておきましょう。

- 1 状況により、早めに避難しましょう**
 - 避難の準備を心がけ、周辺の状況を確認し、早めに避難しましょう。
 - 両手を自由に使えるようにして、脱げにくい運動靴を履き、安全に避難しましょう。
- 2 住所、氏名、連絡先などを記載した防災メモを持ちましょう**
 - 特に連絡先などを伝えることが難しい人は、事前に防災メモを用意し、身につけて避難しましょう。
- 3 非常持ち出し品はコンパクトにまとめましょう**
 - 非常持ち出し品はリュックサックにまとめ、両手が自由に使えるようにしましょう。
- 4 外出中の家族とは連絡を取り合しましょう**
 - 「どこどこへ避難する」といったような連絡を取り合しましょう
- 5 集団で助け合しましょう**
 - 単独での行動は避け、近所の人たちと助け合いながら避難しましょう。
- 6 やむを得ない場合を除いて、車での避難は控えましょう**
 - 車は、約30cmの浸水で走行困難になります。車での避難は控えましょう。
- 7 できるだけ安全なルートで避難しましょう**
 - 川べり、地下歩道などは避け、できるだけ安全な広い道を選びましょう。
- 8 避難所などでは係の人の指示に従いましょう**
 - 避難所などに着いたら、住所、氏名などを報告し、係の人の指示に従いましょう。